

令和元年度京都市産業廃棄物 3 R 推進会議について

1 会議の開催状況

- 第1回 令和元年 7月29日 (月)
- 第2回 令和元年12月27日 (金)
- 第3回 令和2年 3月27日 (金)

2 主な意見及び質疑応答

(1) 第3次京都市産業廃棄物処理指導計画に掲げた施策の進捗状況

- ◆ 産廃チェック制度について、インセンティブを与えて継続的に取組が広まるようにしてほしい。(第1回)
- ◆ 電子マニフェストの利用は増えているのか。〔事務局回答：来年度の一部義務化の対象者については、多くが加入している。〕(第1回)
- ◆ リサイクルについて、将来的には、ケミカルリサイクルやバイオプラ等をもっと考えていくべきであるが、現時点では、サーマルリサイクルも認めざるを得ない。(第3回)
- ◆ 廃プラスチック類を石炭の代替燃料としてリサイクルすることは悪いことではない。(第3回)

(2) PCB廃棄物の適正処理対策について

- ◆ 重要な分野であるので、しっかりと進めていってほしい。(第1回)
- ◆ J E S C Oにおける処理のキャパシティは足りるのか。〔事務局回答：高濃度の部分以外を選別して取り除くことなどにより、処理量の増加に努めていると聞いている。〕(第2回)
- ◆ 事業者に対して、処理期限を過ぎれば代執行になることを説明しているのか。〔事務局回答：代執行になった場合は費用負担が増加することを含め、説明している。〕(第2回)
- ◆ どのくらい未登録の事業者があるのか。〔事務局回答：トランス、コンデンサについて、100件強である。〕(第3回)

(3) 産業廃棄物実態調査について

- ◆ 廃プラスチックの処理について、排出事業者や処理業者の考えや行政に求めていることを聞いてはどうか。(第1回)
- ◆ S D G sに関する質問を入れてはどうか。(第1回)
- ◆ 回答率は、前回調査と同程度なのか。〔事務局回答：前回は上回っている。〕(第2回)

(4) 第3次京都市産業廃棄物処理指導計画後の次期指針について

- ◆ P C B廃棄物の処理について、次期指針に載せてほしい。(第1回)
- ◆ リサイクルのみならず、もう少しリデュースにも光を当てた方が良いのではないか。(第3回)
- ◆ 発生抑制について、経済的視点もあり、むしろ国では産業廃棄物の発生量

はむしろ増えるとしているが、必要なことであり、検討してもらいたい。(第3回)

- ◆ 指針には、BCP（業務継続計画）を入れた方が良い。(第3回)

3 令和元年度委員名簿

(1) 委員

氏名	役職等	区分
○ いしだ はづき 石田 葉月	同志社大学経済学部教授（資源・エネルギー経済）	学識経験者
おおやま せいや 大山 晟弥	公募委員	市民公募
こうの ゆたか 河野 穰	（公社）京都工業会 業務推進役	排出事業者
こたに まり 小谷 真理	同志社大学政策学部准教授（行政法・環境法）	学識経験者
◎ たかおか まさき 高岡 昌輝	京都大学大学院工学研究科教授（廃棄物処理）	学識経験者
たかはし こ 高橋 かつ子	3R・低炭素社会検定 3R部門合格者	検定合格者
ながた かずし 長田 和志	日本ウエスト（株） 代表取締役	産業廃棄物 処理業者
にしおか せいじ 西岡 誠司	京都商工会議所 産業振興部 副部長	排出事業者
はなしま あつこ 花嶋 温子	大阪産業大学デザイン工学部環境理工学科准教授 （廃棄物処理）	学識経験者
みやげ まさゆき 三宅 正之	（公社）京都府産業資源循環協会 専務理事	産業廃棄物 処理業者
むらい たかつぐ 村井 孝次	（一社）京都府建設業協会 京都支部 常任理事	排出事業者
やまぐち やすひろ 山口 靖弘	京都府中小企業団体中央会 理事・事務局長	排出事業者
やまだ かずなり 山田 一成	（一社）京都府産業廃棄物3R支援センター センター長	排出事業者

◎委員長 ○副委員長

(五十音順, 敬称略)

(2) オブザーバー

かさほら あつし 笠原 淳史	京都府 府民環境部 循環型社会推進課長	行政
-------------------	---------------------	----

(敬称略)